

## 1月実施の課題考査について

各教科から1月5、6日実施の課題考査に関する連絡があります。熟読し、試験に備えましょう。また、これまでの既習事項を振り返り、自分の不得意なところ等をそのままにしておかず、克服していくようにしましょう。当日は、マークシート方式の試験もあるので、B または HB の鉛筆を必ず持参するようにしてください。



### 国語科

『セオラム1』『漢字ボックス』『錬成問題集』『基礎が身につく古典1』百人一首より出題（範囲は授業予定表参照）。各種ワークは1月6日（水）終礼後に提出。

### 社会科

現代社会 25問、世界史 A 50問。配点 各 50点。マークシート方式。  
現代社会・世界史 A とともに第2考査、第3考査、第4考査の範囲、12月28日までに習った範囲から出題します。 ※ B または HB の鉛筆で解答してください。マークミスのないように。



### 数学科

別紙プリントで配布した『冬期復習課題』の範囲を中心として出題しますが、これまでに学習した内容からも出題します。（数学 I・A の内容で50分のテストです。）  
冬休みは非常に短いので、計画的に、毎日少しずつコツコツと課題をこなしていくようにしましょう。

### 理科

1月の課題考査の範囲は1学期から2学期第4考査の最後までが範囲になります。  
もう一度最初から見直しておくようにしましょう。

### 英語科

GTEC Advanced; Reading, Listening, Writing を受検します。  
配布した「受験前に読むしおり」を熟読し、出題傾向をつかんでおきましょう。  
「スキル UP ワーク」もスコア A2.2. (~p.33) くらいまでは、取り組んでおきましょう。



## 第四考査講評

### 国語科

#### 現代文

第四考査の学年平均点は62.4点でした。これまで以上に設問が多く、最後までたどりつかなかったという人もいるかもしれませんが、点数が大幅に下がった人に共通して言えるのは、大問五『漢字ボックス』の問題を取りこぼしていることです。普段の漢字テストの難易度も高くなってきていますので、小テスト→定期テスト、と何度も繰り返し学習することで、正確な語彙力を身に着けるようにしましょう。



#### 古典

第四考査の学年平均点は56.7点でした。こちらも現代文同様設問数が多く、苦戦した人も多いのではないのでしょうか。また、今回の単元で学習した「敬語」ですが、訳だけでなく、敬語の種類（尊敬・謙譲・丁寧）を正しく把握できているかで、大きく差が付きまして。最初は戸惑うことの多い古典の敬語表現ですが、マスターできれば、登場人物相互の関係を把握したり、省略された主語をつかんだり、読解力が大幅にアップします。教科書で学習した単語から、確実におさえていきましょう。

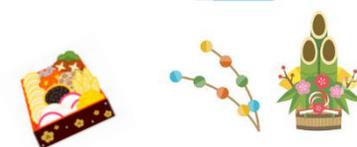
### 地歴公民科

#### 世界史 A

今回の第4考査は、前回よりも皆さん頑張ったようです。平均点も高くなっています。ただ気になるのは、中国古代史の分野で、漢字の間違いが目立ったことです。

特に、蘇秦の蘇、殷、高宗の宗、李白の李 など常用漢字のミスが目立ちました。

次回の第5考査では、より正確に覚えてください。



#### 現代社会

< 13467 組 > 平均点は 60.6 とやや低め。衆議院選挙、よおくわかっている人と、全然わかっていない人がいた。歴史分野については、早く世界地図を頭に入れてほしい。経済分野は、常に逆の立場から見ることができるようになってほしい。全体に、欠点も少なかったが、90点以上の鉛筆組も少なかった。

< 258 組 > 3クラスの考査平均点が 65.1 点だった今回の第4考査。平均点は第3考査と比較すると下がったが、押さえてほしい基本問題は得点率が高く良かったと感じている。逆に今回平均を下げた原因は論述問題である。その用語を説明する際のキーワードを踏まえた上で論述する問題の得点率が今回悪かったように思うので、今一度論述問題に出そうな社会科用語に関しては自分で調べることをお勧めする。次回の第5考査では経済分野を中心に問題を構成するため、グラフの読み取りや経済用語の説明ができるよう予習をしておいてほしい。



## 数学科

数学Ⅰは整数の性質と三角比の前半、数学Aは図形の性質の残り全部(チェバの定理・メネラウスの定理から多面体まで)が出題内容でした。

学年全体の平均点は数学Ⅰが47.3点、数学Aが51.4点です。

数学Ⅰは第3考査に比べるとましでしたが、まだまだ低く、きちんと勉強をしていれば、もっと点数が取れたと思います。特に、三角比は今回基礎的な問題が中心でしたが、全部正解していた生徒が少なく、第5考査でも三角比が引き続き出題されますので、今まで以上に勉強しておく必要があると思います。

第3考査でも言いましたが、『学問に王道なし』というように、テストで高得点を取るには地道にコツコツと勉強する以外に方法はありません。毎日少しずつ問題集(サクシード)を解き、最低3回は解きなおきましょう。

以上を必ず実践してください！ 第5考査に期待しています！！



## 理科

### 化学基礎

平均点は45点程度でした。特に溶液の濃度、化学反応式は今後も化学を学習していくうえで重要な事柄です。今回できなかったところはしっかりとやり直しをしておくようにしてください。理系に進む人はしっかりと理解したうえで応用問題にも対処できるよう、3学期に向けて家庭学習を進めてください。

### 地学基礎

平均点は55程度と、過去最低であったが問題の難易度に対して健闘したといえる。問題の正答率を見ると80点ラインを超える問題は7割以上の生徒が誤答となっている。このような応用問題が前進の鍵となっている。本考査は、「単語の記憶力」で何とかなっていた中学校の勉強の仕方を見直させるのが目的であった。その理由は今の時期から「蓄積可能な学び方」を習慣づける必要があるからである。一夜漬けの記憶力頼みでは、考査直後に勉強の意味が失われてしまうのである。

ここで、蓄積型の勉強ができているかチェックする方法を3つ挙げよう。

- ① 専門用語を使って説明ができるほど現象を理解できているか
- ② 既知の情報を組み合わせて未知の現象を考察できるか
- ③ 式やグラフなど設問の方法を変えても対応できるか

…これが俗にいう応用問題なのである。

克服方法は、① 目標設定を「点数」ではなく、より「具体的」にする

② 教科書を何度も読み、書いて理解する

③ 複数の人数で取り組む などがある。

しかしこれらは一例にすぎない。自分にあった方法を見つけるには誰でも膨大な勉強量が必要であることを理解したい。例えばこの文章をここまでよく読んでいる君は、より良くなりたいたいと思っているわけで、この時点で一歩抜きんできているわけだが、問題はその気持ちを今すぐ行動に変換できるかということにある。



## 英語科

### コミュニケーション英語Ⅰ

英語Ⅰでは毎回 問1で英単語の definition が問われる事は皆さんには想像がついているはず。タスクプリントで学ぶ言葉は基本単語であり且つそのレッスンでの Key Words です。ですので次回からはここは完璧に…くらいの意気込みで！ Summary 問題で心がけて欲しいことは、あくまでも提示された英文の切り貼り、書き写しではいけない、ということです。あくまでも<要約>する力を問われていることに注意してください。ただしこの要約する力はすぐにつくものではありません。英語、国語は言葉の能力をためられます。日々の授業から大切にしましょう。

第5考査でも試験の様式は大きく形式は変わらないと思われます。ノートに問題用紙、答案用紙を貼っておきテスト前に見直すのもいいでしょう。毎日少しずつがんばっていきましょう。応援しています！

### 英語表現Ⅰ

第4考査は、分詞構文を中心にして準動詞、受動態、関係詞、を考査範囲としました。

学年全体の平均点は 48.1 点でした。第3考査に比べるとましでしたが、まだまだ低く、きちんと勉強をしていれば、もっと点数が取れたと思います。今回も、スペルミスなどケアレスミスや設問をよく読まずに、早合点して間違った解答をしてしまう人が目立ちました。文法事項だけでなく英語のスペルも正確に覚えるようにしましょう。

英語を覚えるためには、教科書や参考書の例文を繰り返し音読するだけでなく、例文を繰り返し紙に筆写することもとても大切です。例文を通して文法を覚え、「使える英語」へとつなげていくことを目標にしましょう。冬休み中に今まで習った文法事項の復習だけでなく、動詞の活用、形容詞・副詞の比較級・最上級の形も確認しておきましょう。



## 家庭科

範囲が広がったのですが、それなりに勉強してくれていたようです。学年平均点58点、最高点 89 点でした。毎回言いますが、基本はプリントからの出題なので、日ごろのプリントへの取り組みが、大事です。授業中、聞くだけではなく、積極的に発言して、知識の定着を図ってください。2 学期は、実習点の割合が大きかったのですが、3 学期はテスト点の割合が大きくなるので、ぜひ頑張ってください。

## 保健体育科

難易度はそこまで高くない内容でしたが、筆記の問題に関しては教科書をきちんと勉強した人とそうでない人で結果に差がでたと思います。感染症の予防について、新型コロナの影響で基礎知識があり教科書の内容では物足りない人も多かったのではないのでしょうか。3 学期は大きく内容はかわりますが、今回と同様教科書をきちんと勉強してください。

今年は短い冬休みですが、みなさん、よいお年をお迎えください。新学期は5日からです！

